

地域水田農業ビジョン策定に係る取組事例

市町村名 福井県大野市

☆福井県の県都福井市の東、約30kmに位置する九頭竜川に沿って開ける盆地で、古来から北陸の小京都と呼ばれている。肥沃な大地と豊かな水、早くから進んだ基盤整備と勤勉な営農によって、福井県下でも指折りの酒造好適米、コシヒカリなどの良食味米生産地として名声を高めている。また、水稻種子粳の産地としても高い評価を受けている。米をめぐる厳しい環境の中でも、農業への情熱は深く、認定農業者の育成や集落営農をはじめとする経営の効率化など、熱心に取り組まれている。

☆特産品の開発にも意欲的で、サトイモをはじめナス、白ネギ、花卉など市場評価の高い特産品が多くある。特に上庄地区のサトイモは関西方面では人気商品となっている。



取組のポイント

☆ビジョン策定を主な協議事項としている大野市水田農業推進協議会を設置し、市やJAだけでなく認定農業者、生産法人、農家組合代表、消費者の幅広い参画のもと検討を進めている。

☆これまで取組んできた特別栽培による米づくりを実需者から評価・要望されるようになり、さらに今後とも評価・信頼が得られる米づくりを目指すとともに、消費者ニーズについて消費者による田植え体験ツアー等消費者と接する機会を通して的確な把握に努め、売れる米づくりに向けた取組みを積極的に推進している。

☆作物としては、これまでの取組を踏まえ、大麦、大豆、ソバ、野菜、飼料作物、花卉を中心に振興。特に、市場評価の高いサトイモ等9作物を指定作物として振興していく方針。

取組のキーワード

★★農業者と消費者・農村と都市の自立と共生を目指して★★



(消費者との交流)



(サトイモの生産振興)

取組内容

- 15年6月に認定農業者を交えて策定された「おおの型 食・農業・農村ビジョン～自立と共生を目指して～」を基に、地域水田農業ビジョンの策定を進めており、認定農業者等地域の代表が参画する推進協議会の中で素案作りの検討を推進。
- 16年1月までに6回の協議会を開催し、ビジョン（案）を作成。2月初旬に第三者機関（大野市農林政審議会）での承認を得て、農業者等への提示・意見集約を経て3月にビジョンを決定する予定。
- 米については、担い手農家と集落営農組織の構築を進めるため、需要の高いもち米と酒米の安定した生産と販路先の拡大に努めるとともに、定着してきた有機肥料を用いた特別栽培米の安定生産と新たな販路先の開拓しつつ、現在引き合いのある大口実需者へ供給する体制作りを推進。
- 特別栽培米の生産に使用する堆肥の一部は、市内における資源循環を推進するため、畜産農家と連携して市内で生産を行い生産者に供給しており、その堆肥の安定した生産体制づくりを検討。
- 作物生産としては、これまでの取組を踏まえ、大麦（品種：ファイバースノウ）、大豆（品種：エンレイ）、野菜、花卉、飼料作物を推進する予定であるが、なかでも市場評価の高いサトイモ等9作物を指定作物として位置付け、特に振興していく予定。
- 担い手については、認定農業者の育成、集落営農組織の育成を基本に平成22年にはこれらの経営体による水田面積の集積率が60%になることを目標に経営基盤強化と水田農業生産の効率化を推進。

地域からのメッセージ

大野市の主要な産業は、北陸の小京都と呼ばれる城下町を中心とした観光と消費者ニーズに応え市場評価の高い作物を生産している農業です。

農業については、大野型農業のあるべき姿を実現を目指し、以下の5つの取組みを市・JA・農業者・消費者等と一体となって推進し、自立と共生による地域農業の活性化を図ることとしています。

経営体の育成と自立

- ①個別経営体と集落・地域営農組織の育成、農地流動化による各々の法人化の推進
- ②多様な農業者の融合と役割分担による相互補完
- ③将来の担い手育成のための食農教育の推進

農業と自然環境との共生

- ①未利用有機性資源を有効活用した有機農業の推進
- ②発酵文化のまちづくり
- ③環境保全型農業農村整備事業の展開

農業者と消費者との共生

- ①消費者が求める安全・安心で、魅力あふれる農産物の生産振興
- ②伝統日本食の復権と地産地消、スローフードの推進の実現

集落と集落との共生

- ①生産組合の広域化
- ②農村集落の連携の実現

農村と都市との共生

- ①都市を主眼に置いた農村交流（グリーン・ツーリズム）の推進
- ②優良農地の保全

策定スケジュール

- 15年 8月 大野市水田農業推進協議会設置要綱告示
- 10月 第1回協議会
- 10月 第2回協議会 (水田農業構造改革交付金の活用について検討、直播・有機栽培に対する検討)
- 11月 第3回協議会 (環境に配慮した水田農業の推進について検討)
- 12月 第4回協議会 (担い手の育成と将来方向について検討)
- 12月 第5回協議会 (ビジョン(案)について検討)
- 16年 1月 第6回協議会 (ビジョン(案)について検討予定)
- 2月 大野市農林政審議会 (ビジョン(案)について検討・承認)
地区別説明会 (地域水田農業ビジョンの説明)
- 3月 第7回協議会 (ビジョン最終決定)

推進体制(概略)

